

会議議事録（要旨）

1 会議名	第4回長岡市自転車ネットワーク計画検討委員会
2 開催日時	平成27年1月16日（金曜日）午後1時30分から午後3時00分
3 開催場所	まちなかキャンパス長岡 5F 交流ルーム
4 出席者名	<p>【検討委員会】 佐野委員長、荒木副委員長、大橋委員、高木委員、瀧澤委員、池嶋委員、関谷委員、土屋委員、大桃委員（代理：三五様）、上原委員、水野委員、小池委員、志賀委員、大塚委員</p> <p>【事務局】 森山都市整備部長、外4名</p>
5 欠席者名	中山委員
6 議題	<p>(1) 第3回委員会意見と対応事項</p> <p>(2) 長岡市自転車ワークショップの開催結果について</p> <p>(3) 長岡市自転車ネットワーク計画（案）</p>
主な意見等の内容	
委員	市内の自転車関連事故が減少しているのはどのように考えられるか。
事務局	警察による「自転車は車両」という徹底の流れがあり、また学校での安全教育や街角での周知等により、自転車マナーの遵守が高まっているためと考えられる。
委員 (市民活動推進課)	先日、警察の方にセーフティリーダー養成研修に参加して頂いており、また学校での安全教育にも力を入れて頂いている。それらの取り組みが功を奏していると考えられる。
委員	<p>大手通りでは自転車と歩行者を分離しているが、自転車利用者の中にはマナーをわかっていても守っていない状況が見られる。</p> <p>市、公安、教育委員会等がマナー徹底を図る必要がある。</p>
委員	<p>自転車マナーアップ推進高校として今年度3校指定し、来年度は別の3校を指定し、市内の全高校で順番に一巡する予定としている。</p> <p>特に高校生の運転する自転車と歩行者の事故は近年多い実感がある。取組みを続けることが大事と考えている。</p>

委員	<p>自転車ネットワーク路線の整備目標について、H27 年度は 0%、目標年次の H36 年度を 30%としている。</p> <p>毎年、一律の距離で整備を進める方法とするのか。</p>
事務局	<p>単純に一律で進めるとは言えない。</p> <p>整備を進める路線の優先度を具体的に整理し、優先度の高い路線から進めていきたい。</p> <p>また、予算や地元合意等も考慮する必要がある。</p>
委員 (新潟県警)	<p>計画は良くまとまっている。ただし、実際に自転車走行空間の整備を進めていく上では現地に応じた課題も生じる。</p> <p>安全が第一であり、詳細な検討段階では、十分に警察と協議を行いながら進めてほしい。</p>
委員	<p>平成27年度の整備済み延長は0%ということであるが、大手通り等は分離が行われており、今後はソフト施策を充実し、大規模なハード整備までは行わないということが良いか。</p>
事務局	<p>良い。</p>
委員	<p>車道での自転車走行空間整備を最初にどこにするかは重要である。</p> <p>最初はモデル路線として進め、ルールを周知すべきである。</p> <p>一気に整備を進めるとルールがわからず市民は困惑してしまう恐れがあるため、最初の区間と周知方法を工夫して進めてほしい。</p>
事務局	<p>路線の優先度を検討し、モデル路線を設定し周知しながら進めていきたい。</p>
委員	<p>自転車走行空間整備の基本的な考え方の「(7) 橋梁等の勾配」に関連して、長生橋は歩道が片側のみで狭いため、自転車を押して歩くことの推奨をすぐにも行ってほしい。</p>
委員 (新潟県)	<p>歩道幅が狭い状況であるが、対策を持ち帰って検討したい。</p>
委員	<p>「計画の評価」について、目標年次の10年後は今と交通状況も変わってくる。</p> <p>PDCA サイクルの“Check (評価)”について、整備の効果を検証する指標は何か。</p>
事務局	<p>目標年次までの中間年に委員会を開催し、整備状況等を確認することを考えている。それまでに、モデル路線等の自転車交通量や遵守率等の整備前後のデータを取り、効果を検証したいと考えている。</p>

委員	モデル区間でぜひ行ってほしい。
事務局	モデル区間がその後の整備のベースとなるため、指標を定めデータを収集し、市民に広報して進めていきたい。
委員	市民ワークショップでは、「安全を確保するために自らできること・して欲しいこと」を議論しているが、自転車利用者が安全に走行するためのマナーを守ってもらうことが重要である。 そのための意識啓発を工夫しながら進めてほしい。
委員 (道路管理課)	道路管理者として、最初のモデル路線が大事であり、市民に整備の効果を実感してもらうことが大事だと考える。 そのため、庁内や学校関係者等と議論を深め、目標を達成し、喜んで自転車走行空間を使ってもらえるようにしたい。
委員	自転車走行空間の整備・開通と併せて、PRのため、自転車の安全教室等のイベントを開くことも有効である。 マナーの周知徹底とPRを行ってほしい。
委員 (新潟県警)	自転車利用者、歩行者、車の運転手の安全な走行につながる計画であり、警察としても協力して進めていきたい。
委員 (新潟県)	道路管理者としても協力していきたい。 ただし、予算も考慮する必要もあるので、優先度を整理し、道路管理者、警察と協議を深め、地域と話しあいながら進めてほしい。
委員	商店街にとって、自転車は路上駐輪等の問題がある一方で、自転車で来るお客さんもいる。 安全安心のまちとすべく、自転車が公共交通やタクシー等の邪魔になる状況も見られるため、引き続き、対策を行ってほしい。
委員 (国交省)	道路管理者として、特に国道8号の整備等で積極的に協力していきたい。 整備に当たっては、警察等と協議して進めてほしい。